

科目名	樹木学 I		科目番号	林・造-1
担当教員	守屋均(元香川大学)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	4～6月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	植物の生理生態を理解し植物名を覚える。			
授業概要	植物名を覚えるため、要素試験を繰り返し実施する。植物の基礎知識と栽培環境を理解する。			
授 業 計 画	第1時限	要素試験		
	第2時限	植物のいろいろ(グループ分け)		
	第3時限	要素試験		
	第4時限	植物の仕組みと働き(花、葉)		
	第5時限	要素試験		
	第6時限	植物の仕組みと働き(種子、茎、根)		
	第7時限	要素試験		
	第8時限	植物のライフサイクル		
	第9時限	校内樹木調査		
	第10時限	栽培環境(光、湿度、温度)		
	第11時限	要素試験		
	第12時限	栽培環境(水、風)		
	第13時限	要素試験		
	第14時限	栽培環境(土、肥料)		
	第15時限	テスト、要素試験		
	第16時限	テスト、植物と環境についてのレポート		
テキスト、参考書	葉っぱでわかる造園樹木図鑑 よくわかる庭木大図鑑			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	造林学		科目番号	林・造-2
担当教員	阿部佑平・河野幸彦	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1年生 林業・造園緑化コース	開講時期	5～6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	森林の施業技術や管理技術について理解を深める。			
授業概要	持続可能な森林管理を実現するための具体的な森林の施業技術や管理技術について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	木材生産の更新技術(適地の判定・伐採方法・苗木の種類)		
	第2時限	木材生産の更新技術(植栽)		
	第3時限	木材生産の更新技術(苗木の育成と林木育種)		
	第4時限	木材生産の更新技術(苗木の育成と林木育種)		
	第5時限	木材生産の更新技術(天然下種更新、萌芽更新)		
	第6時限	初期保育技術(下刈り、つる切り、除伐)		
	第7時限	樹冠管理技術(枝打ち、間伐の目的・種類)		
	第8時限	樹冠管理技術(定性・定量間伐、広葉樹林の間伐)		
	第9時限	木材生産の施業体系、環境林の管理技術、森林の健全性維持の管理技術		
	第10時限	総括、試験		
テキスト、参考書	森林科学(実教出版)			
成績評価法	出席状況、授業態度、試験成績により評価する			
その他				

科目名	森林防災学		科目番号	林・造-3
担当教員	河野幸彦	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1年生 林業・造園緑化コース	開講時期	11～12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	森林防災の必要性、測量の基礎について理解を深める。			
授業概要	森林を保全・育成し、水源の涵養や土砂の流出防止など森林の機能を発揮させる治山事業の重要性について学習するとともに、森林の測量において基本となるコンパス測量、水準測量について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	治山の重要性		
	第2時限	山地の荒廃		
	第3時限	治山工事		
	第4時限	山腹工事		
	第5時限	コンパス測量①（校内実習）		
	第6時限	コンパス測量②（校内実習）		
	第7時限	水準測量①（校内実習）		
	第8時限	水準測量②（校内実習）		
テキスト、参考書	森林経営(実教出版)、各種資料			
成績評価法	出席状況、授業態度、授業課題の成果により評価する			
その他				

科目名	林業演習		科目番号	林・造-4
担当教員	阿部佑平	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	4～2月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	県内の森林整備の状況や森林組合の経営状況、森林資源の活用状況について理解を深める。			
授業概要	県内で実施されている森林整備や森林資源活用の優良事例を見学するとともに、森林整備の主な担い手である森林組合の事業内容を学ぶ。			
授業計画	第1時限	<p>県内の森林整備現場、森林資源を活用している施設等の見学</p> <p>県内の森林組合の事業内容の把握</p>		
	第16時限			
テキスト、参考書	森林科学(実教出版)			
成績評価法	出席状況、授業態度、試験成績により評価する			
その他				

科目名	造園概論		科目番号	林・造－5
担当教員	増田拓朗(香川大学名誉教授)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	4～5月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	造園の歴史を学び、造園の役割と課題について考える。			
授業概要	造園の概念と意義、庭園(西洋庭園・日本庭園)及び都市公園・自然公園の歴史と現況、造園と景観、造園と環境の関係について学び、これからの造園の役割と課題について考える。			
授 業 計 画	第1時限	造園の概念と意義		
	第2時限	西洋庭園		
	第3時限	日本庭園①		
	第4時限	日本庭園②		
	第5時限	都市公園		
	第6時限	自然公園		
	第7時限	造園と景観		
	第8時限	造園と環境		
	第9時限	第1回～第8回の授業の補足と総括		
	第10時限	試験		
テキスト、参考書	テキストはプリントを配布する。参考書(造園施工必携)			
成績評価法	試験成績により評価する			
その他				

科目名	造園材料		科目番号	林・造-6
担当教員	川田一郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	造園施工を行う上で主に使用する造園材料の種類や特性、用途、管理技術などについて知識を習得する。			
授業概要	主に使用する植物材料(樹木・草本類)や石材などその種類や用途、管理技術を講義するするとともに、造園施工時に使用する他の材料について概要説明を行う。			
授 業 計 画	第1時限	樹木、樹木の管理(剪定)、樹木の管理(灌水・薬剤防除)		
	第2時限			
	第3時限	地被植物、宿根草の主な種類と分類(使い方)、石材		
	第4時限			
	第5時限	木材と竹材、繊維材料		
	第6時限			
	第7時限	その他の材料、テスト		
	第8時限			
テキスト、参考書	造園実務ポケットブック 他			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	庭木・緑化木管理		科目番号	林・造一7
担当教員	吉田重隆	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	造園樹木の剪定・整姿と、目的に沿った樹木、地被植物の維持管理に関する知識と技術を習得する。			
授業概要	造園樹木などの整姿や施肥、管理に関する基本的な知識と技術を学び、主要な植物の形態的な特性と生理・生態的な特性に合わせた知識を学習する。			
授 業 計 画	第1時限	植物の特性 造園樹木の特性		
	第2時限	造園樹木の管理		
	第3時限	庭木の剪定		
	第4時限	主な庭木の剪定		
	第5時限	主な庭木の剪定(マツ類)		
	第6時限	実技演習		
	第7時限	地被植物の管理 庭木の施肥、病虫害管理		
	第8時限	庭木・緑化木管理の総括試験		
テキスト、参考書	庭木・花木の剪定			
成績評価法	試験及び実技演習の成績により評価する			
その他				

科目名		造園演習		科目番号	林・造一8
担当教員		阿部佑平	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース		1学年 造園緑化コース	開講時期	4～2月	
単位数		2	必須・選択の別	必須	
授業目標		県内の日本庭園、都市公園等の特徴、管理状況について理解を深める。			
授業概要		県内の日本庭園や都市公園等を見学するとともに、造園会社の事業内容を学ぶ。			
授業計画	第1時限	<p>県内の日本庭園、都市公園等の見学</p> <p>県内の造園会社の事業内容の把握</p>			
	・				
・					
・					
・					
・					
・					
・					
・					
・					
・					
・					
・					
・					
第16時限					
テキスト、参考書	造園施工必携				
成績評価法	出席状況、授業態度、試験成績により評価する				
その他					

科目名	製図		科目番号	林・造－9
担当教員	阿部佑平	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 造園緑化コース	開講時期	12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	林業や造園の分野に必要な製図の基本的な知識と作成方法を習得する。			
授業概要	林業と造園の分野の図面の概要や、造園の分野における樹木などの自然素材の表現方法を学び、平面図や透視図などの作成をフリーハンド及びCADにより演習する。			
授 業 計 画	第1時限	製図の基本、林業と造園の分野の図面の概要		
	第2時限	フリーハンドによる平面図の作成		
	第3時限	フリーハンドによる透視図の作成		
	第4時限	フリーハンドによる透視図の作成		
	第5時限	JW-CADの基本操作		
	第6時限	JW-CADによる平面図の作成		
	第7時限	JW-CADによる平面図の作成		
	第8時限	JW-CADによる平面図の作成		
テキスト、参考書	造園図面の表現と描法1 実践 造園図面の描き方 はじめて学ぶJw_Cad8、Jw_Cadハンドブック			
成績評価法	出席状況、授業態度、授業課題の成果により評価する			
その他				

科目名	森林経営概論		科目番号	林・造－10
担当教員	香川森林管理事務所・阿部佑平	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1年生 林業・造園緑化コース	開講時期	4～5月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	森林を持続的に経営するために必要な知識を習得する。			
授業概要	世界と日本の森林資源・林業の状況や森林経営の目標、森林・林業の制度と政策について学習する。			
授業計画	第1時限	世界の森林と林業		
	第2時限	日本の森林と林業		
	第3時限	森林経営とは何か、森林経営の組織		
	第4時限	森林経営の計画		
	第5時限	香川県の地域森林計画、市町森林整備計画の内容		
	第6時限	伐採届出制度、森林の所有者届出制度の概要		
	第7時限	森林・林業の制度と政策		
	第8時限	総括、試験		
テキスト、参考書	森林経営(実教出版)、各種資料			
成績評価法	出席状況、授業態度、試験成績により評価する			
その他				

科目名	森林資源利用学		科目番号	林・造-11
担当教員	阿部佑平	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2年生 林業・造園緑化コース	開講時期	5～12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	森林資源を利用していくうえで重要な森林の測定や評価、伐採から搬出までの工程について理解を深める。			
授業概要	現地調査等を行いながら、樹木や林分を測定する方法、森林資源の利用について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	樹木の測定、林分の測定、空中写真の利用、森林の評価		
	第2時限	森林調査方法の習得		
	第3時限	森林調査の実践（ヒノキ林の林分周囲測量、標準地調査）		
	第4時限	森林調査の実践（図面作成、面積計算、林分材積・素材生産量の計算）		
	第5時限	作業システム、路網		
	第6時限	林木の伐採、労働安全(チェーンソーの取扱い)		
	第7時限	造材と集材、木材の運搬、試験		
	第8時限			
テキスト、参考書	森林経営(実教出版)、森林科学(実教出版)、各種資料			
成績評価法	出席状況、授業態度、試験成績により評価する			
その他				

科目名	森林施業集約論		科目番号	林・造－12
担当教員	阿部佑平	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2年生 林業・造園緑化コース	開講時期	1月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	森林施業の集約化に必要な知識を習得する。			
授業概要	森林経営計画の作成、提案型集約化施業の進め方について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	森林経営計画の概要		
	第2時限	森林経営計画の作成・実践例の見学		
	第3時限	森林経営計画の作り方		
	第4時限	森林経営計画作成の練習		
	第5時限	森林整備補助事業の概要、提案型集約化施業の概要		
	第6時限	提案型集約化施業の進め方		
	第7時限	森林施業提案書作成にむけた森林調査		
	第8時限	森林施業提案書作成の練習		
テキスト、参考書	各種資料			
成績評価法	出席状況、授業態度、授業課題の成果により評価する			
その他				

科目名	木材流通論		科目番号	林・造－13
担当教員	阿部佑平 他	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2年生 林業・造園緑化コース	開講時期	5～9月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	木材の性質・用途や流通過程を理解するとともに、県内の木材需要を把握し、県産木材に求められる品質や需給に関する課題を理解する。			
授業概要	県産木材の活用に力をいれる製材所や工務店等での現地学習を交えながら、木材生産のあり方や県産木材の需給に関する課題等について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	循環資源としての木材、林産業の現状と動向、製材・加工と木工		
	第2時限			
	第3時限	県産木材の活用に力をいれる製材所の見学		
	第4時限			
	第5時限	県産木材の活用に力をいれる工務店等の見学		
	第6時限			
	第7時限	県産木材の活用に力をいれる企業の見学		
	第8時限			
テキスト、参考書	森林経営(実教出版)、林産物利用(実教出版)			
成績評価法	出席状況、授業態度、授業課題の成果により評価する			
その他				

科目名	造園施工		科目番号	林・造－14
担当教員	吉田 重隆	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 林業・造園緑化コース	開講時期	4～6月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	造園施工の技術に関する知識・技術を学び、造園空間を創出するための能力を習得する。			
授業概要	造園の施設施工、造園植栽施工の概要に関する知識を学習するとともに、箱庭製作等の演習を通して施工技術を学習する。			
授 業 計 画	第1時限	造園技術の特色・造園施工工具類		
	第2時限	垣根施工		
	第3時限	石組施工		
	第4時限	箱庭制作の構想		
	第5時限	園路施工		
	第6時限	箱庭の平面図作成		
	第7時限	擁壁、階段、石積施工		
	第8時限	箱庭の構造物作製		
	第9時限	添景物施工		
	第10時限	箱庭制作		
	第11時限	水景施設施工		
	第12時限	箱庭制作		
	第13時限	給排水工		
	第14時限	箱庭制作		
	第15時限	造園施工の総括試験		
	第16時限	箱庭完成・作品の総括講評		
テキスト、参考書	造園施工必携(改)、造園実務ポケットブック			
成績評価法	試験及び箱庭製作演習の成績により評価する			
その他				

科目名	造園計画設計		科目番号	林・造－15
担当教員	吉田 重隆	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 林業・造園緑化コース	開講時期	9～10月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	庭園の計画・設計に必要な知識と技術を学び、空間を創造する能力と態度を習得する。			
授業概要	庭園の計画・設計・施工の基本的な流れを理解し、庭園の構造物や植栽等に関する知識を学習するとともに、平面的・立体的に表現する技法を学習する。			
授 業 計 画	第1時限	造園計画と造園空間		
	第2時限	造園デザインの技法		
	第3時限	美的構成の手法		
	第4時限	基本調査・全体計画		
	第5時限	住宅庭園の計画・設計		
	第6時限	敷地の造成と土壌改良		
	第7時限	住宅庭園の構成(形式)		
	第8時限	茶庭		
	第9時限	住宅庭園の構成(要素)		
	第10時限	透視図(一点透視図)		
	第11時限	植物の移植		
	第12時限	透視図(二点透視図)		
	第13時限	植物の植栽施工		
	第14時限	明治神宮の杜		
	第15時限	地被、花壇		
	第16時限	造園計画の総括試験		
テキスト、参考書	造園施工必携(改)、造園実務ポケットブック			
成績評価法	試験及び作品(透視図)制作演習の成績により評価する			
その他				

科目名	景観デザイン		科目番号	林・造-16
担当教員	松本 誠司(四国グリーン産業株)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2年生 林業・造園緑化コース	開講時期	9~11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	外構(造園工事)に必要な実践的プランニング能力を身につける。			
授業概要	外構(造園工事)に必要な基本項目をまず習得し、実務に役立つように課題、実習を行う。			
授 業 計 画	第1時限	マテリアル(素材)、エクステリア(部材)の種類と寸法の理解		
	第2時限			
	第3時限	エクステリア展示場見学(きりんの森展示場)		
	第4時限			
	第5時限	樹木下草の種類と植栽の基本パターンを学ぼう		
	第6時限			
	第7時限	プランニングを始めよう(測量→要望聞き取り→ゾーンニング迄)		
	第8時限			
	第9時限	実習;すぐ役立つプランニング1(要望→プランニング)		
	第10時限			
	第11時限	実習;すぐに役立つプランニング2(プランニング→プレゼン)		
	第12時限			
テキスト、参考書	カタログ 各種資料 写真 パース図			
成績評価法	実習で行うプランニング完成図(2から3回)により評価する			
その他				

科目名	農場実習		科目番号	林・造－17
担当教員	阿部祐平、表崎晃他	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1年生 林業・造園緑化コース	開講時期	通年	
単位数	10	必須・選択の別	必須	
授業目標	林業、造園の技能と作業安全に関する知識を習得する。			
授業概要	作業安全に関する知識を習得するとともに、現地で林業機械や造林・育林の実習、校内で造園の技能検定に向けた練習等を行う。			
授業計画	第1時限	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 地図の読み方、山林内の安全な歩行等の習得（森林基礎実習） ・ ・ 林業労働の安全衛生に関する知識等の習得（林業労働安全実習） ・ ・ 刈払機の取扱、伐木等の業務に係る特別教育（安全衛生実習） ・ ・ 林業機械を使用した作業を安全に行うために必要な知識と技術の習得（林業機械実習） ・ ・ 造林、育林に関する作業方法の習得（造林実習） ・ ・ 森林荒廃地の測量・図化方法等の習得（森林防災実習） ・ ・ シイタケ等の栽培方法の習得（特用林産物実習） ・ ・ 造園の技能の習得 		
	第260時限			
テキスト、参考書				
成績評価法	農場実習実施要領の農場実習報告書により評価する			
その他				